

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智明 殿

福島第一及び第二原子力発電所の
廃炉に向けた取組みに関する要求書

令和2年2月7日

福島県原子力発電所所在町協議会
会長 富岡町長 宮本 皓一

福島第一及び第二原子力発電所の 廃炉に向けた取組みに関する要求書

東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から8年10か月が経過しました。

この間、被災地における復興は着実に進展しており、福島県原子力発電所所在町においても、一歩ずつではありますが復興に向けた歩みを着実に進めているところです。

しかしながら、帰還困難区域はもちろんのこと、避難指示が解除された地域においても多くの課題が山積していることから、未だふるさとへ戻ることができず、多くの方々が避難生活を余儀なくされているという事実を重く受け止めなければなりません。

そのような中、昨年7月に貴社より福島第二原子力発電所の全基廃炉の決定がなされたこと、さらに、昨年末に改訂された中長期ロードマップにおいて、「復興と廃炉の両立」を大原則として打ち出したことは一定の評価に値し、復興の加速化に寄与するものと期待しております。

については、福島第一及び第二原子力発電所の着実な廃炉に向けて、甚大な被害を招いた責任を強く自覚し、次の事項に迅速かつ確実に取り組むよう強く要求いたします。

1 福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所について

- (1) 燃料デブリや使用済燃料等の放射性廃棄物については、国の指導のもと処分の議論を進め、廃炉終了までに県外において適切に処分をすること。
- (2) 作業工程の遅れやトラブル等を未然に防ぐために、福島第一原子力発電所の廃炉作業を含めた人的リソースの確保に、事業者として積極的に取り組むこと。
- (3) 廃炉に必要な技術を確立するとともに、持続可能な地域づくりに寄与する新たな雇用及び定住人口を創出すること。

2 福島第一原子力発電所について

- (1) 使用済燃料取出し作業においては、安全かつ着実に進めるとともに、その進捗状況の的確かつ分かりやすい情報公開を徹底すること。
- (2) 燃料デブリについては、世界の英知を結集し、安全かつ確実に取り出すための実態把握に努めること。
- (3) トリチウムを含む水の取扱いについては、環境や風評への影響を慎重に議論し、地元に対して丁寧に説明し、理解を得ながら進めること。
- (4) 燃料デブリや使用済燃料等の放射性廃棄物の一時的な構内での保管・管理について、住民が安心して生活できるよう十分な対策を講ずるとともに、町及び議会に対して丁寧に説明すること。

3 福島第二原子力発電所について

- (1) 廃炉に向けた具体的な工程を早期に示し、かつ原子力規制委員会に廃止措置計画を提出する前段で、町や議会に丁寧に説明すること。
- (2) 使用済燃料等の放射性廃棄物が県外搬出されるまでの間における、一時的な構内での保管・管理について、住民が安心して生活できるよう十分な対策を講ずるとともに、町及び議会に対して丁寧に説明すること。
- (3) 廃炉作業が地域振興に寄与し得るために、地元企業が参入しやすい環境づくりを構築すること。

町村名	氏名	備考
富岡町長	宮本 皓一	会長
双葉町長	伊澤 史朗	副会長
大熊町長	吉田 淳	
楢葉町長	松本 幸英	
富岡町議会議長	塚野 芳美	
双葉町議会議長	佐々木 清一	
大熊町議会議長	吉岡 健太郎	
楢葉町議会議長	青木 基	